

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第7回美幌町義務教育学校開校検討委員会
開 催 日 時	令和7年11月18日（火） 18時00分 開会 19時09分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ1階 集団健診ホール
出 席 者 氏 名	【委員】 13名 中山委員（委員長職務代理）、小林委員、西田委員、豊澤委員、澤田委員、 寺崎委員、牛島委員、采女委員、森委員、加藤委員、吉田委員、 大原委員、熊崎委員 【オブザーバー】 小室教育長
欠 席 者 氏 名	中川委員長、長岡委員、伊藤委員、山本委員、辻委員、川添委員、 佐藤委員、花田委員、佐々木委員
事務局職員職氏名	中尾教育部長、高田学校教育課長、弓山学校給食課長、 浅野社会教育課長兼スポーツ振興課長、鬼丸博物館長、菅図書館長、 藪下指導主事、辻総務G主査、佐藤総務G主査、堀口学校教育G主査、 大内児童支援主幹、廣田建築主幹 風間総務G主事、森谷学校教育G主事
議 題	1 開会 2 議事 (1) 美幌町の義務教育学校について (2) 開校検討委員会の役割等について (3) 美幌町義務教育学校基本構想（素案）について 3 その他 4 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名
資 料 の 名 称	○議案 ○資料番号1 美幌町の義務教育学校について（スライド） ○資料番号2 開校検討委員会の役割等について ○資料番号3 美幌町義務教育学校基本構想（素案）
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	1 開会 （進行：中尾教育部長）
中山委員長代理	2 議事 （以降、進行は中山委員長代理）
事務局	（１）美幌町の義務教育学校について （２）開校検討委員会の役割等について 資料番号１～２に基づき事務局より説明
牛島委員	（意見等） 資料番号１の２ページについて、義務教育学校では小中学校両方の免許を所有している人しか勤務できないのか。
事務局	資料に記載のとおり「原則」として両方の免許を所有していることが望ましいとされているが、片方の免許のみでも勤務している方はいる。
澤田委員	資料番号１の内容は、開校検討委員会の最初の方で一度説明があったと思うが、そこから変わった点はあるのか。
事務局	特段変わった点はない。前回の会議で様々なご意見をいただいたことを踏まえ、改めて義務教育学校の定義などについて委員の皆様と共有させていただく資料をご用意した。
牛島委員	資料番号１の５ページに小中教員の授業の共有に関する記述があるが、義務教育学校では先生によってあなたは小学校の先生ですよ、中学校の先生ですよという指定はあるのか。
事務局	義務教育学校では両方の免許を所有する先生がいる上に職員室も一つのため、小学校・中学校で線を引くような態勢にはならない。ただ、人事上は前期課程、後期課程に分けて異動が行われる現状となっている。今後義務教育学校が多くなってくれば、義務教育学校間での人事異動という形が実現する可能性もある。
事務局	（３）美幌町義務教育学校基本構想（素案）について 資料番号３に基づき事務局より説明 ※前回の会議でのご意見を踏まえ、追加・修正した箇所（赤字部分）を中心に説明
采女委員	（意見等） ２１ページのかしわの木の表現について、前回から修正していると思うが、「町民の貴重な財産」とか「できる限りかしわの木の保全に配慮」という表現を見るとやはりかしわの木を残そうという考えに捉えてしまう。これまでこの会議で議論してきた内容をきちんと基本構想に反映すべきでは。率直に事務局としてかしわの木を残すことで考えているのか改めて確認したい。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	<p>残すありきでは考えていない。これまで議論してきたとおり、かしわの木を積極的に切りたいという方はいないが、子供ファーストで考えた時にどうしても支障となるのであれば伐採について議論することで整理している。具体的には基本構想が完成した後の基本設計の中で固めていく。</p>
采女委員	<p>それであれば、かしわの木の保全についてのみではなく伐採する可能性もあるという表現方法にすべきだと思う。</p>
熊崎委員	<p>義務教育学校になることで小中教員間でのギャップ、文化の壁も生じる可能性があるため、児童生徒だけではなく教員も環境の変化に慣れる必要がある。両方のメンタルケアの体制もしっかりと検討してほしい。</p>
事務局	<p>次年度の開校準備委員会の中で検討してまいりたい。</p> <p>なお、開校準備委員会で検討する課題については、現在校長会から意見集約しているところであり、その結果を踏まえて専門部会の設置と各部会で検討する課題の振り分けを行う。</p>
吉田委員	<p>21 ページのかしわの木の表現のところにも子供ファーストという表現を明記しても良いのではないかと。</p> <p>13 ページに学年の区切りを4－3－2 制にする理由が記載されているが、保護者の立場からすると実績としてどうなのかや本当にそれが良いのかということが気になる。小学校6 年、中学校3 年の6－3 制というのがこれまでの歴史だと思うが、それを4－3－2 制にする流れだということを丁寧に記載した方が良いと思う。また、6－3 制から4－3－2 制に変わる不安もあると思うので、移行期間の考え方についても触れた方が良いと思う。あと、児童生徒数が減少している状況ではあるが、義務教育学校を整備することで他の地域から人を集めるぞ、くらいの前向きな面も検討しても良いのではと思う。</p>
小林委員	<p>最近、新聞記事で北見市が学校の統廃合を止めたという情報を見たが、うちのような専門の委員会で十分議論した上でその結論となったのか、それとも行政が一方的にそのような判断にしたのか、町で何か情報を聞いたりしているのか。</p>
事務局	<p>報道にも出ているとおり、予想以上に児童生徒数の減少が加速化している状況があり苦慮していると伺っているが詳細までは把握していない。</p>
事務局	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の開催日程等について報告 (令和7 年11 月27 日(木) 18 時～ 美幌町役場1 階第1 会議室) <p>4 閉会</p> <p style="text-align: right;"><u>19 時09 分 閉会</u></p>